

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社タカベ精工					
代表者名	氏名	高見澤 誠次	役職名	代表取締役		
主たる事務所の所在地	長野県諏訪郡下諏訪町字町屋敷2222-3					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	24 金属製品製造業				
主たる事業の概要	半導体製造装置やプラネタリウムなどの部品の供給					
制度に該当する要件	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input checked="" type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	43.78	37.20			
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	88.18				
	調整後排出量	t-CO ₂	88.18	74.93		
その他ガス排出量合計	t-CO ₂					
自動車の台数	台	5				
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂					

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2022 年度	計画期間	2023 年度～ 2025 年度
報告対象年度			

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	https://takabeseiko.com
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

<ul style="list-style-type: none"> 工場におけるCO2排出量の削減及び、再生可能エネルギーの活用 <ul style="list-style-type: none"> 金属加工における省エネ設備の導入 輸送時のトラックや、営業車におけるハイブリッド車両、EV車両の導入 導入済の太陽光発電の活用 						
2050ゼロカーボンに向けた中長期的な目標等						
目標等の有無	無	目標年度		年度	削減目標	
削減計画の概要	2025年に向けては、省エネに資する設備導入及び、ガソリン車からハイブリッド車の入替などを進めていく予定である。また、その指標を明確に持つためにSBTやRE100などの取得も検討を行う。					
イニシアチブ参画状況	<input type="checkbox"/> SBT	<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/> 再エネ100宣言 RE Action	<input type="checkbox"/> その他		

5の1 温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制

<ul style="list-style-type: none"> 温暖化対策責任者：代表取締役 各種施策に対する検討・最終決定を行う 温暖化対策サポート：事務 担当者の施策立案に対して資料収集などサポートを実施。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">代表取締役 (温暖化対策責任者)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">取締役専務</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">事務</div>	<p>各種施策に対する 検討・最終決定を行う</p> <p>各種対策の情報収集や 企画立案などを担当</p> <p>施策立案に対して資料 収集などサポートを実施</p>

5の2 温室効果ガスの排出の量の削減のための会議体等の名称及び開催頻度

タカベ精工(株)温暖化対策会議、月1回実施予定

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	88.18	t-CO ₂	生産額	4.80	単位	億円
2022年度	調整後排出量	88.18	t-CO ₂	基準原単位	18.37	t-CO ₂ /	億円
目標年度	目標排出量 (調整後排出量)	74.93	t-CO ₂	目標原単位	15.61	t-CO ₂ /	億円
2025年度	目標削減率	15.02	%	目標削減率	15.02	%	
目標設定に関する説明	工場全体のエネルギー使用量は、24年3月に省エネに資する設備を導入することにより、全体の1.0%程度の改善が見込まれる。また、ガソリン車からハイブリッド車へ2台入替を行うことで、ガソリン使用量が大幅に削減され、全体の3.8%程度の改善が見込まれる。以上により2025年度は基準年に対して約5.0%の削減を見込む。また信州グリーン電気を23年度から25年度で合計15%以上の利用で目標の15.02%を目指します。						
第一年度	排出量		t-CO ₂	生産額		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2023年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂	生産額		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2024年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂	生産額		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2025年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO ₂			単位	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2023年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2024年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2025年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO ₂			単位	
2022 年度	調整後排出量			基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2023 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2024 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

番号	区分	設備等	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	生産設備	曲げ工程の機械設備を省エネ対応設備にする。	2024	0.639		
2	エネ起	生産設備	曲げ工程の機械設備を省エネ対応設備にする。	2024	0.589		
3	自動車		ガソリン車からハイブリッド車へ	2024～2025	2.24		
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

再生可能エネルギー源	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	35	0			
水力	kW	0	0			
風力	kW	0	0			
バイオマス	kW	0	0			
太陽熱	kW	0	0			
その他	kW	0	0			
蓄電設備	kWh	0	0			

10 再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年					
FIT非化石証書 非FIT非化石証書(再エネ指定)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
J-クレジット	t-CO ₂ /年					
県が認証したクレジット (森林CO ₂ 吸収評価認証制度等)	t-CO ₂ /年					
再生可能エネルギー電気 (自家消費、PPA、自己託送等)	千kWh/年					
再生可能エネルギー電気 (小売電気事業者からの買電)	千kWh/年	0	使用電力の10%			
うち県内産	千kWh/年	0	使用電力の10%			

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	1	88.18						
合計	1	88.18						

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計				

1.3 次世代自動車の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車	3			
その他 (ハイブリッド等)	1			
合計	4	0	0	0
自動車総数	5			
次世代自動車導入割合	80			

様式1号
(総括票)

1.4 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	特になし
自転車の利用促進	特になし
来客者の交通対策／社用車等の移動に伴う取組	特になし
電気自動車用充電設備の設置／電気自動車の導入	電気自動車用充電設備の設置
物流の合理化	同じ方面の荷物に関しては納期なども合わせ混載し配送している

1.5 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細	
	実施内容	実施年度
<input checked="" type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している	2025
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している	
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している 名称	
<input type="checkbox"/> グリーンボンド・ESG投資	グリーンボンドを発行している又はESG投資を実施している	
<input type="checkbox"/> ZEB	の認証を取得している	
<input type="checkbox"/> デイマンド・リスポンス (DR)	電気の需要の最適化に資する措置 (上げDR・下げDR) を実施している	
<input type="checkbox"/> その他		

1.6 自由記載欄 (特に重点的に取り組んだ内容やアピール事項等)

<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs に関しては宣言まではしているので長野県の登録をめざしている。 ・電力に関しては中部電力ミライズで電気使用量のうち10%を信州Greenでんきにする契約を12月にする。 ・設備の入れ替えを来年3月に行なう事が決定しているが新しい設備はオイル交換が無くなるのと電力も入替前の設備より落とすことができる設備にかかります。 ・電気自動車用充電設備はあるが、現状電気自動車がないので導入を検討中。
--